

仕様・寸法

● 仕様

	BAL-OS	BAL-1S	BAL-5	BAL-6	BAL-9	BAL-10
フレーム材質	アルミ	アルミ	アルミ	アルミ	アルミ	アルミ
シート材質	ポリエステル	ポリエステル	ポリエステル	ポリエステル	ポリエステル	ポリエステル
グリップ	エンボスグリップ	エンボスグリップ	エンボスグリップ	エンボスグリップ	エンボスグリップ	エンボスグリップ
バックサポート	スリング	スリング	テンション	テンション	テンション	テンション
背折れ	なし	あり レバー式	あり レバー式	あり レバー式	あり レバー式	あり レバー式
アームサポート	ウレタン	ウレタン	ウレタン	ウレタン	ウレタン	ウレタン
サイドガード	樹脂	樹脂	樹脂	樹脂	樹脂	樹脂
足台可動	固定	固定	スイングアウト	スイングアウト	スイングアウト	スイングアウト
フットサポート	軽量ステップ 黒	軽量ステップ 黒	ポスト式ステップ	ポスト式ステップ	ポスト式ステップ	ポスト式ステップ
キャスタ	6" 黒ソフトフォーミング モジュール	6" 黒ソフトフォーミング モジュール	6" 黒ソフトフォーミング モジュール	6" 黒ソフトフォーミング モジュール	6" 黒ソフトフォーミング モジュール	6" 黒ソフトフォーミング モジュール
タイヤ	20PU ハイポリマータイヤ	20PU ハイポリマータイヤ	22PU ハイポリマータイヤ	16PU ハイポリマータイヤ	20PU ハイポリマータイヤ	16PU ハイポリマータイヤ
介助ブレーキ	なし	あり	あり	あり	あり	あり
ハンドリム	プラスチックハンドリム	プラスチックハンドリム	プラスチックハンドリム	なし	プラスチックハンドリム	なし
駐車用ブレーキ	BAL標準ブレーキ	BAL標準ブレーキ	KTブレーキ W用	KTブレーキ W用	KTブレーキ W用	KTブレーキ W用

● 寸法

単位：mm

	BAL-OS	BAL-1S	BAL-5	BAL-6	BAL-9	BAL-10
シート幅	400	400	400	400	400	400
全幅	630	640	600	580	600	580
レッグパイプ長	280±20	280±20	350~	350~	370~(310~)*1	370~(310~)*1
全高	850/875/900	855/880/905	850/875/900	850/875/900	860±25	860±25
全長	970	970	990	950	960	960
バックサポート高	420	420	380	380	380(440)*1	380(440)*1
後座高	300/325/350	300/325/350	375/400/425	375/400/425	385/410/435 (325/350/375)*1	385/410/435 (325/350/375)*1
シート奥行	380	380	400	400	380	380
アームサポート高	250	250	260/285/ 310/335	260/285/ 310/335	205/230/255/280 (265/290/315/340)*1	205/230/255/280 (265/290/315/340)*1
前座高	325/350/375	325/350/375	400/425/450	400/425/450	410/435/460 (350/375/400)*1	410/435/460 (350/375/400)*1
キャスタ	6 インチ	6 インチ	6 インチ	6 インチ	6 インチ	6 インチ
駆動輪・主輪	20 インチ	20 インチ	22 インチ	16 インチ	20 インチ	16 インチ
折りたたみ時の全長	955	935	730(970)*2	635(878)*2	740(940)*2	740(940)*2
折りたたみ時の全高	850/875/900	600/625/650	650/675/700	650/675/700	640±25	640±25
折りたたみ時の全幅	320	330	320	290	330*3	330*3
重量	11.6kg	12.7kg	16.1kg	14.6kg	16.5kg	15.3kg

※1 ()内はクッションを取り外したときのサイズです。

※2 ()内はフット・レッグサポートを取り付けたままのサイズです。

※3 折りたたみ寸法の全幅については、ワンタッチソフトシート(背・座)を外した時のサイズです。

製造元

Wheel Chair
Miki

株式会社 ミキ

〒457-0863 名古屋市南区豊三丁目38番10号

BALシリーズ BAL-OS / BAL-1S / BAL-5 / BAL-6 / BAL-9 / BAL-10

補足取扱説明書

本書は、BALシリーズ(BAL-OS、BAL-1S、BAL-5、BAL-6、BAL-9、BAL-10)共通の補足取扱説明書になります。本書では、機種ごとに装備が異なる項目には、該当機種を記載しております。

該当機種を確認いただき、ご自分の車いすに関する項目をお読みください。

ご使用前に本書と別冊「標準車いす取扱説明書」を必ずお読みになり、十分に理解した上でお使いください。また、本書はいつでもご覧になれる所に大切に保管しておいてください。使用者の身体状況・環境の変化に合わせて、必要なときにお読みください。

使用目的・特徴

本製品は手動式車いすで、一人乗り用です。これに搭乗しての移動と、休息を目的としています。

本製品は、特別な身体保持具、バックサポート(背)・座位の角度調整機構等がなく、使用者がハンドリムを操作して駆動する手動式の自走用標準形車いすです。(BAL-6、BAL-10の場合、介助者が操作する介助用標準形車いすです。)日常生活用に設計されており、特殊な使用目的(スポーツ・入浴など)のものではありません。

はじめにご確認ください

本製品購入後に、はじめて梱包箱をあけるとときに、下記のものが入っていることを確認してください。

- ・車いす本体
- ・工具(スパナ2ヶ 六角レンチ 5mm、4mm、3mm 各1ヶ)
- ・取扱説明書(本書)、標準車いす取扱説明書 各1ヶ
- ・保証書

⚠ 警告

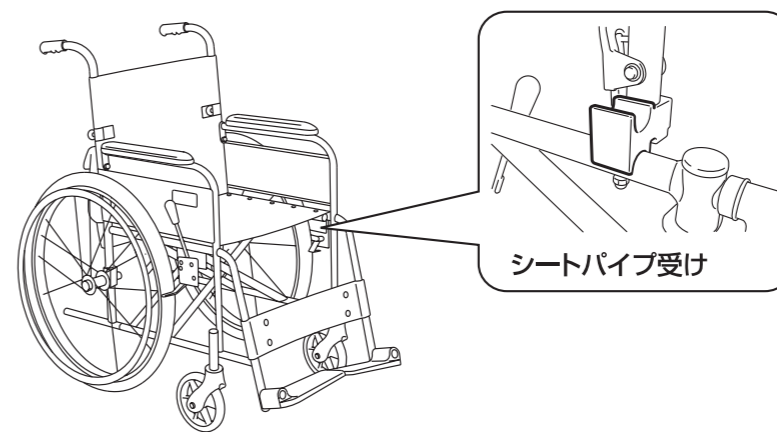
該当機種：BAL-1S、BAL-5、BAL-6、BAL-9、BAL-10

使用する前に、両側の背折れジョイントが確実にロックされていることを確認してください。
ロックされていないと、使用者が後方に転倒する恐れがあります。

⚠ 注意

該当機種：BAL-5、BAL-6、BAL-9、BAL-10

車いすを開いた際、シートパイプ受けに、シートパイプがしっかりとハマっていることを確認してください。
シートパイプ受けにシートパイプをはめ込むことで、ガタつきをなくす構造になっています。
※しっかりとハマっていない場合は、シートパイプの中央付近を押してはめてください。押す時は、シートパイプの先端を押さないでください。フレームが変形する恐れがあります。



制動用ブレーキのかけかた

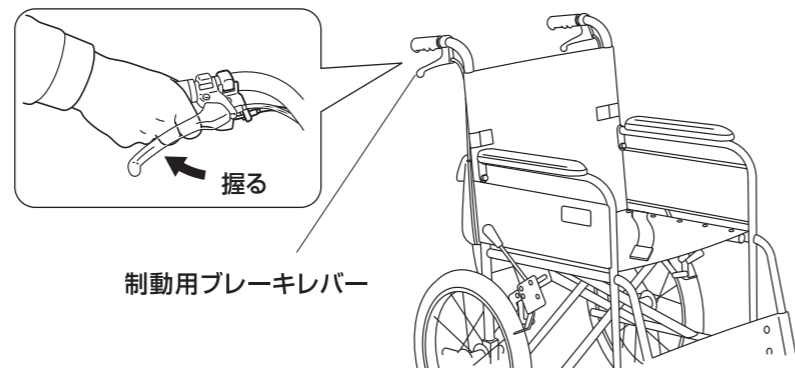
該当機種：BAL-1S、BAL-5、BAL-6、BAL-9、BAL-10

△危険	<ul style="list-style-type: none"> ・スピードを出さないでください。スピードが出ているときに急カーブを走行したり、急ブレーキをかけたりすると、転倒して事故やけがにつながる恐れがあります。 ・急な下り坂で介助するときは、後ろ向きにゆっくり降りてください。また、制動用ブレーキを使いスピードを落としてください。
-----	--

△警告	ブレーキは、介助者がブレーキレバーを左右同時に握ってかけてください。転倒して事故やけがにつながる恐れがあります。
-----	--

介助者が、左右の手押しハンドル下の制動用ブレーキレバーを握ってかけます。ブレーキレバーを放すと解除されます。

△注意	ブレーキワイヤーは、安全のため定期的に交換してください。(交換の目安:1年に1度)
-----	---



アームサポートフレームの跳ね上げ

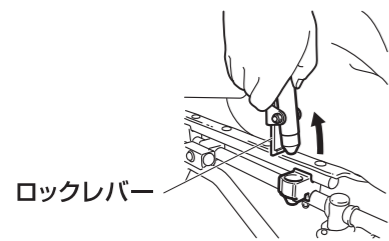
該当機種：BAL-5、BAL-6

アームサポートフレームをワンタッチで後方へ跳ね上げることができます。ベッドと車いすの間の移乗などがスムーズに行なえます。

△注意	<ul style="list-style-type: none"> ・操作は、必ず両輪の駐車用ブレーキをかけてから行なってください。 ・アームサポートフレームを持って車いすを持ち上げないでください。部品が外れて使用者が転倒、落下すると、事故やけがにつながるおそれがあります。 ・アームサポートを跳ね上げて乗り降りする際は、アームサポートを最後まで跳ね上げたことを確認してから行ってください。アームサポートが身体、衣服に引っかかり、けがをする恐れがあります。
-----	--

● 跳ね上げかた

ロックレバーの上側を押しながら、アームサポートフレームを持ち上げて後方へ跳ね上げます。



*アームサポートフレームを上げた状態で、アームサポートフレームに力を加えないでください。フレームが変形し故障の原因となります。

● 戻しかた

△注意	アームサポートフレームを下ろすときは、身体をはさまないように注意してください。
-----	---

アームサポートフレームを下ろし、完全にロックされたことを確認します。

*アームサポートフレームを下ろした後、アームサポートフレームが完全にロックされていることを確認してください。

△警告	ウイングアームサポートを跳ね上げた状態で走行しないでください。使用者が車いすから落ちて、事故やけがにつながる恐れがあります。
-----	--

アームサポートフレームの跳ね上げ

該当機種：BAL-9、BAL-10

アームサポートフレームをワンタッチで後方へ跳ね上げることができます。ベッドと車いすの間の移乗などがスムーズに行なえます。

△注意	<ul style="list-style-type: none"> ・操作は、必ず両輪の駐車用ブレーキをかけてから行なってください。 ・アームサポートフレームを持って車いすを持ち上げないでください。部品が外れて使用者が転倒、落下すると、事故やけがにつながるおそれがあります。 ・アームサポートを跳ね上げて乗り降りする際は、アームサポートを最後まで跳ね上げたことを確認してから行ってください。アームサポートが身体、衣服に引っかかり、けがをする恐れがあります。
-----	--

● 跳ね上げかた

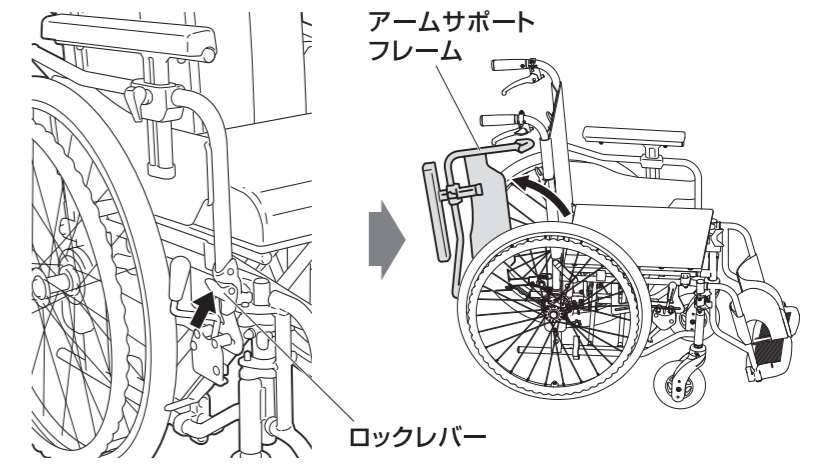
ロックレバーを押しながら、アームサポートフレームを後方へ跳ね上げます。

*アームサポートフレームを上げた状態で、アームサポートフレームに力を加えないでください。フレームが変形し故障の原因となります。

● 戻しかた

アームサポートフレームを下ろし、完全にロックされたことを確認します。

*アームサポートフレームを下ろすときは、身体をはさまないように注意してください。
*アームサポートフレームを下ろした後、アームサポートフレームが完全にロックされていることを確認してください。



フット・レッグサポートの開閉・取り外し

該当機種：BAL-5、BAL-6、BAL-9、BAL-10

フット・レッグサポートをワンタッチで開閉することができます。車いすへの乗り降りの際、フット・レッグサポートが脚にぶつかることなくスムーズに移乗することができます。

△警告	<ul style="list-style-type: none"> ・フット・レッグサポートの開閉・取り外し・取り付けは、必ず両輪の駐車用ブレーキをかけてから行なってください。 ・フット・レッグサポートを持って車いすを持ち上げないでください。部品が外れて使用者が転倒、落下すると、事故やけがにつながるおそれがあります。
-----	--

● 開きかた

回転レバーを矢印の方向に引き、そのままフット・レッグサポートを外側に回転させて開きます。

● 閉じかた

△注意	フット・レッグサポートを閉じるときに、指をはさまないように注意してください。
-----	--

フット・レッグサポートを内側に回転させて閉じます。閉じた後、フット・レッグサポートが完全にロックされたことを確認します。

● 取り外しかた

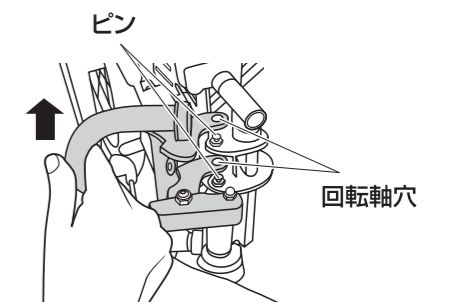
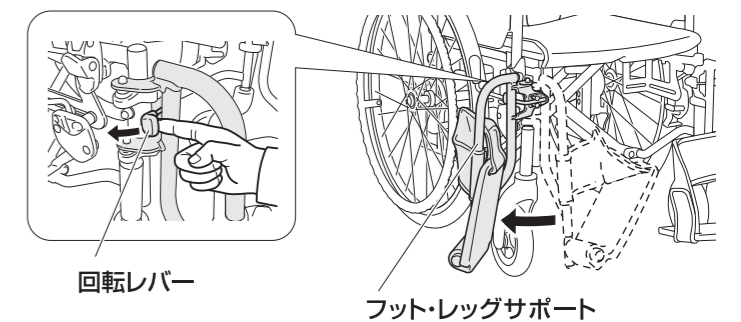
フット・レッグサポートを外側に開いた状態で、垂直に引き上げます。

● 取り付けかた

車体フレーム側の2つのピンにフット・レッグサポート側の回転軸穴(2箇所)を合わせてはめ込みます。

*フット・レッグサポートを開いた状態で、フット・レッグサポートに力を加えないでください。金具が変形し故障の原因となります。

△警告	<ul style="list-style-type: none"> ・フット・レッグサポートを開いた状態で走行しないでください。事故やけがにつながる恐れがあります。 ・開閉時、フック部に身体や衣服が引っ掛からないように注意してください。けがをする恐れがあります。 ・乗り降りの際に、スイングアウト部に身体や衣服が引っ掛からないように注意してください。転倒など事故やけがにつながる恐れがあります。
-----	---



各部の調節のしかた

警告 ・各部の調節は必ず駐車用ブレーキをかけてから、平坦な場所で行なってください。
 ・座面の高さ調節は、販売店へご依頼ください。

座面の高さ調節

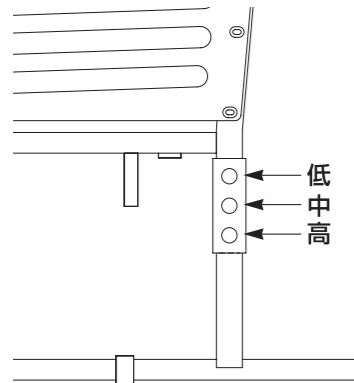
座面の高さを最大3段階(低・中・高)に調節することができます。
 座面の高さ調節は、駆動輪(主輪)とキャストの取り付け位置をそれぞれ対応する高さ(低、中、または高)に調節することで行ないます。

- * 駆動輪(主輪)とキャストは、それぞれ左右同じ高さに調節してください。
- * 座面の高さを変更したら、必ず駐車用ブレーキの取り付け位置も併せて調節してください。

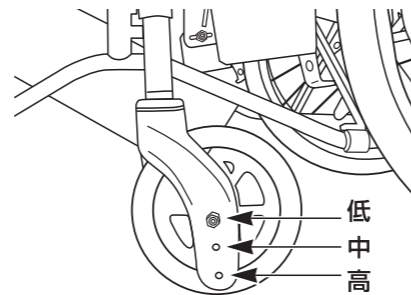
駆動輪(主輪)とキャストの調節範囲

BAL-OS、BAL-1Sの場合

駆動輪

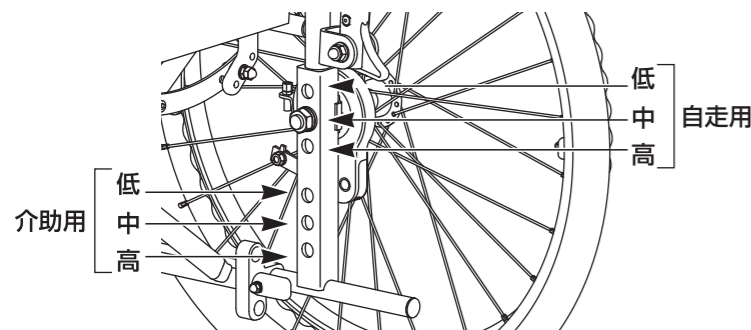


キャスト

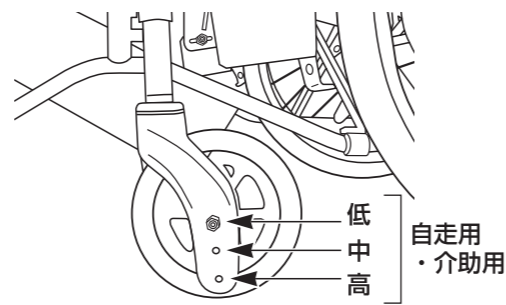


BAL-5、BAL-6、BAL-9、BAL-10の場合

駆動輪・主輪



キャスト

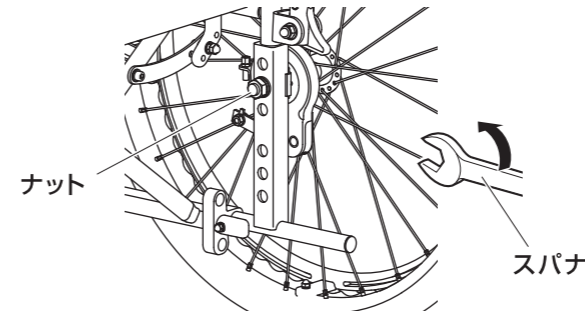


危険

- ・駆動輪・主輪とキャストは、必ず対応する高さ設定に調節してください。
- ・駆動輪・主輪とキャストの調節を誤ると、腰掛けた場合に転倒する恐れがあります。
- ・使用者を乗せたまま調節を行なうのは、絶対におやめください。
- ・自走⇔介助への組み換えには、それぞれに対応した駆動輪(主輪)が必要となります。

駆動輪(主輪)の高さを変える

- 1 作業しない側の駐車用ブレーキのみかけます。
- 2 駆動輪(主輪)の車軸外側をスパナなどでおさえたまま車軸内側のナットをスパナなどで回して外し、駆動輪(主輪)を引き抜きます。
 * このとき、制動用ブレーキも一緒に取り外します。



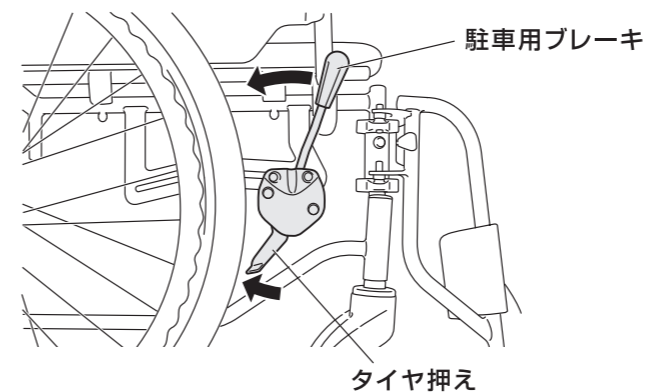
- 3 駆動輪(主輪)を取り付ける穴を決め、駆動輪(主輪)の車軸を制動用ブレーキ等に通し、本体フレームに差し込みます。
- 4 車軸内側にナット等を取り付け、車軸外側をスパナなどでおさえたまましっかりと締め込みます。
- 5 駆動輪(主輪)がガタつかず、しっかりと固定されていることを確認します。

- * 反対側も同じ高さに調節してください。
- * 締め付けトルク:20.0~24.0N・m

駐車用ブレーキの取付位置を調節する

- * 座面の高さを調節したら、駆動輪(主輪)と駐車用ブレーキ間の距離が変わります。必ず駐車用ブレーキの取付位置を調節してください。
- * ブレーキの効き具合を随時点検し、効きが悪い場合は、ブレーキの取付位置を調節してください。

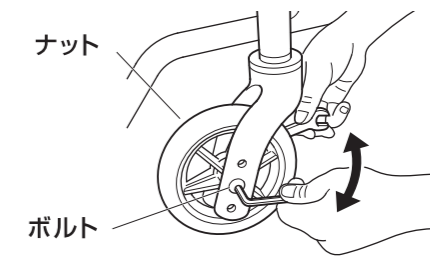
- 1 駐車用ブレーキの内側のナット(2本)をレンチなどでゆるめます。
- 2 駐車用ブレーキをかけたときに、タイヤに駐車用ブレーキのタイヤ押えが当たり、駆動輪(主輪)がしっかりと止まる位置に調節します。
- 3 ナット(2本)を締め、駐車用ブレーキがガタつかずしっかりと固定されていることを確認します。
- 4 駐車用ブレーキをかけ、駆動輪(主輪)がしっかりと止まることを確認します。



- * 駆動輪(主輪)がしっかりと止まらない場合、または駐車用ブレーキが効きすぎる場合は、再度調節してください。
- * 反対側も同様に調節してください。
- * 締め付けトルク:5.0~6.0N・m
- * BAL-5/6の自走⇔介助の組み換え時は、駐車用ブレーキを取り外す必要があります。

キャストの高さを変える

- 1 駐車用ブレーキレバーを引いて、両輪のブレーキをかけます。
- 2 キャスタ軸のナットをスパナなどで回して外し、ボルトを抜きます。



- 3 「駆動輪(主輪)とキャストの調節範囲」に従って、駆動輪(主輪)と同じ高さ設定になる取付け穴にボルトを差し込み、しっかりとナットを締め込みます。
- 4 キャスタがしっかりと固定されていることを確認します。また、キャストがスムーズに回転することを確認します。

- * 反対側も同じ高さに調節してください。
- * 締め付けトルク:4.5~5.0N・m

アームサポートの高さ調節

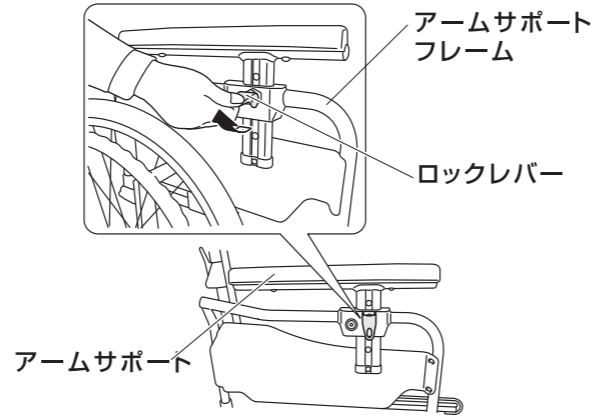
該当機種：BAL-5、BAL-6、BAL-9、BAL-10

△注意

- ・高さ調節をした後は、必ず固定されたことを確認してください。
- ・調節中にアームサポートが下がり、アームサポートフレームとアームサポートの間に指をはさまないよう注意してください。けがをするおそれがあります。
- ・アームサポートを持って車いすを持ち上げないでください。

- 1 駐車用ブレーキレバーを引いて、両輪のブレーキをかけます。
- 2 ロックレバーを引いてロックを解除します。
- 3 アームサポートの高さを調節し、希望の高さでロックレバーを押し下げます。
- 4 ロックレバーがいっぱいまで下がり、アームサポートが確実に固定されていることを確認します。

- * 反対側も同様に調節してください。
- * 調節後、アームサポートがしっかり固定されていることを確認してください。



バックサポートの張り具合調節

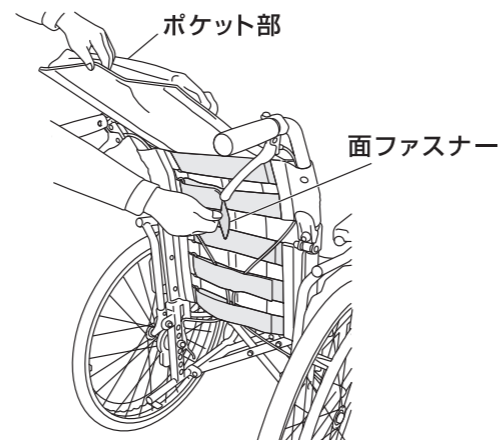
該当機種：BAL-5、BAL-6、BAL-9、BAL-10

△注意

- ・面ファスナーに糸くず、汚れ等がついた際は、接着が弱くなりますので取り除いてください。
- ・面ファスナーの張り具合を過度に強くしますと、十分に車いすが開かなくなり、フレームの変形の原因になります。

*バックサポートの張り具合を随時チェックし、必要に応じて調節してください。

- 1 駐車用ブレーキレバーを引いて、両輪のブレーキをかけます。
- 2 ポケット部をめくり上げます。
- 3 面ファスナーをはがし、バックサポートの張り具合を調節した後、もう一度面ファスナーをしっかりと貼り合せます。
* 手でバックサポートを押し、確実に固定されていて、張り具合が適切であることを確認してください。
- 4 ポケット部を元に戻します。



フットサポートの高さ調節

該当機種：BAL-5、BAL-6、BAL-9、BAL-10

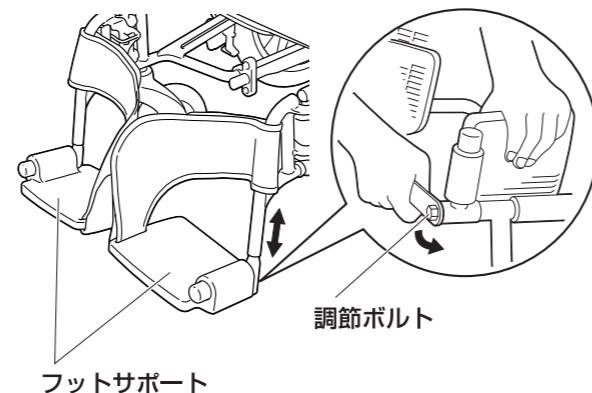
△注意

フットサポートは、地上より50mm以上あげた状態で使用してください。

*使用者に合わせて、フットサポートの高さを適切な位置に調節してください。

- 1 駐車用ブレーキをかけます。
- 2 フット・レッグサポートの裏側の調節ボルトをスパナなどでゆるめます。
- 3 使用者の足に合わせ、フットサポートの高さを調節します。
- 4 調節を終えたら、調節ボルトを締め付けて固定します。

- * 反対側も同様に調節してください。
- * フットサポートが回転せず、しっかり固定されていることを確認してください。
- * 締め付けトルク:8.0~12.0N・m



困った時には

車いすをご使用されていて『故障かな』と思われましたら、販売店へ連絡するまえに下記項目を確認してください。

症状	確認点	対処
車いすがまっすぐ走らない。 斜行する。	路面が傾斜していませんか。 車いすは、傾斜面では低い方へ前輪が流れる特性があります。	低い方へ曲がらないように車いすを操作してください。 《自走の場合》 傾斜面の低い側に当たる駆動輪をより強く回してください。 《介助者が押す場合》 傾斜面の低い側に当たる手押しハンドルに、より力を入れて押してください。
	キャストの回転に左右差がありませんか。 キャスト軸の回転がスムーズですか。	お買い上げの販売店へ修理をご依頼ください。
	キャスト、駆動輪(主輪)の計4輪がきちんと接地していますか。	お買い上げの販売店へ修理をご依頼ください。
駐車用ブレーキが効かない。	駆動輪(主輪)のタイヤは摩耗していませんか。	お買い上げの販売店へ修理をご依頼ください。
	駐車用ブレーキのタイヤ押えが駆動輪(主輪)にきちんと当たっていますか。 駐車用ブレーキがガタついていませんか。	お買い上げの販売店へ修理をご依頼ください。
制動用ブレーキ(介助ブレーキ)が効かない。	ブレーキワイヤーが伸びたり、切れたりしていませんか。	お買い上げの販売店へ修理をご依頼ください。
	ワイヤーチューブが、折れ曲がったり、引っ掛かたりしていませんか。	改善がみられない場合は、お買い上げの販売店へ修理をご依頼ください。
異音がする。	本体や車輪とオプション品、アクセサリなどの干渉していませんか。	車いすに取り付けて使用するカバンなどは車輪など回転する箇所と干渉しないようにしてご使用ください。
	可動部分の錆び・摩耗・汚れ・油汚れなどによっておこる摩擦音がしていますか。	お買い上げの販売店へ修理をご依頼ください。
	フレームに歪みが発生していませんか。 ボルト類の緩み等がおきていませんか。	
車いすが開かない (BAL-5、BAL-6、BAL-9、BAL-10の場合)	バックサポートの張り具合を締めすぎていませんか。	バックサポートの張り具合を調整してください。

アフターサービス

- ・万一故障の場合は、お買い上げの販売店、または弊社へこの商品の品名および故障状況をくわしくご連絡の上お申しつけください。
- ・保証期間内の場合は、保証書の提示が必要となります。

保証

- ・保証内容につきましては、同封の保証書をご覧ください。
- ・保証期間終了後の修理については、お買い上げの販売店、または弊社へお申しつけください。
修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有償修理いたします。